

日本の世界遺産暫定一覧表

平成24年8月1日

区分	記載物件名	所在地	暫定一覧表記載年	備考
1 文化	古都鎌倉の寺院・神社ほか	神奈川県	平成4年	国において、2013年(平成25年)登録をめざし、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書を提出
2 文化	彦根城	滋賀県	平成4年	
3 文化	富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県	平成19年	公募(1次決定) 国において、2014年(平成26年)登録をめざし、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書を提出
4 文化	富士山	静岡県、山梨県	平成19年	公募(1次決定) 国において、2013年(平成25年)登録をめざし、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書を提出
5 文化	飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群	奈良県	平成19年	公募(1次決定)
6 文化	長崎の教会群とキリスト教関連遺産	長崎県、熊本県	平成19年	公募(1次決定)
7 文化	国立西洋美術館本館	東京都	平成19年	平成23年6月ユネスコ世界遺産委員会、国立西洋美術館本館を含む「ル・コルビュジエの建築と都市計画」の登録延期を決定
8 文化	北海道・北東北を中心とした縄文遺産群	北海道、青森県 岩手県、秋田県	平成21年	公募(2次決定)
9 文化	九州・山口の近代化産業遺産群	福岡県、佐賀県 長崎県、熊本県 鹿児島県、山口県 岩手県、静岡県	平成21年	公募(2次決定)
10 文化	宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県	平成21年	公募(2次決定)
11 文化	金を中心とする佐渡鉱山の遺産群	新潟県	平成22年	公募(2次決定)
12 文化	百舌鳥・古市古墳群	大阪府	平成22年	公募(2次決定)

※第35回ユネスコ世界遺産委員会(平成23年6月開催)において、各国から世界遺産委員会への推薦を年2件とする現在の制限に加え、通常の文化遺産候補は年1件以下とする数量制限を、2014年(平成26年)登録分から採用する方針が決定された。